

# 牛久：学校周辺に見る自然

第20号 牛久二小、中根小

2010年6月13日発行

## ＜木の実が大きくなってきました～その2＞

校庭に、何か果実を食べられる樹を植えている学校は多いようですね。17号では、ひたち野うしく小のブルーベリーなどを紹介しましたが、今回はその続編です。これらの樹があると、果実や花蜜、花粉、葉などを求めて、いろいろな鳥や昆虫などが集まり、さらにそれらの動物を食べる動物も集まってきます。鳥などの糞や、虫食いの葉などを見つけたら、ちょっと意識して観察してみましょう。

### ①アンズ(バラ科：牛久二小)



アンズやウメ、モモなどは、中にかたい核があるので核果類かくかるいと呼ばれます。桃のタネ、梅干しのタネなどといいますが、本当の種子は核の中にあります。もう一つの特徴は、果実表面に1本の筋がはいっていること。写真で下部に見られる小さな点は雌しべの花柱のあとです。

【花は3/1、果実は6/11に撮影】

### ②オニグルミ(クルミ科：中根小)



同じ木に、雄花の集まりと雌花の集まりをもっています。写真左は雌花で、赤いのは花粉を受け止める柱頭です。オニグルミの花粉は風で運ばれるために、柱頭もそれを受け止めやすいように広がっているのだと考えられます。写真右の右端にぶら下がっているのは咲き終わった雄花の集まり。

【花は2007/5/8(筑波大)、果実は6/10に撮影】

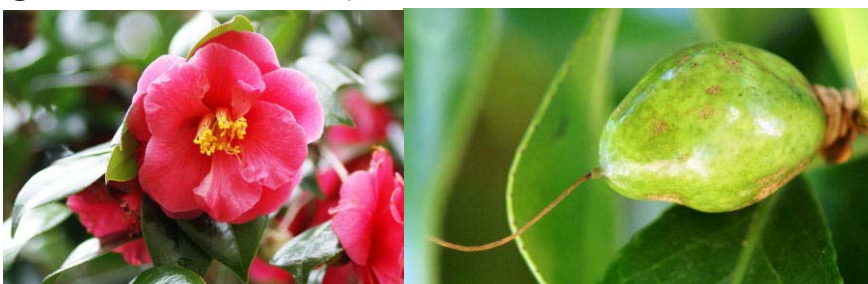
### ③カキ(カキノキ科：中根小)



これも同じ木に雄花と雌花がつきます。写真左は雌花で大きなガクが目立ちますが、ガクはご存じの通り果実が成熟しても残っています。雌花に退化した雄しべが残っているのが見えませんか？中は若い果実、右は雄花。

【花は2007/5/29(茨城県自然博物館)、果実は6/7に撮影】

### ④ツバキ(ツバキ科：中根小)



一昨年、中根小で総合の時間にツバキの油を採っていたグループがありました。意外とたくさんの椿油が搾れていたのにびっくりしましたね。

【花は3/2、果実は6/3に撮影】

【理科支援員・宮内】